

いのちと心を守る
ふるさとの木による
ふるさとの森づくり



～浦安から世界へ～

日本及び世界の緑・森の現状や災害時における森の防災機能、ポット苗を活用した森づくりの事例などについて講演します。

平成 23 年 **10 月 26 日 (水)**

開場：18:30～ 開演：19:00～ 定員:350 名(当日受付 先着順)

場所：浦安市 文化会館 小ホール

参加無料

先着200名様に花苗をプレゼント！！



宮脇 昭 先生

4,000万本の木を植える

1928 年 岡山県生まれ。

広島文理科大学卒業。横浜国立大学名誉教授、
(財)地球環境戦略研究機関国際生態学センター長。

宮脇先生は、その地域に自生する多種類のポット苗を密植・混植する手法により、自然に近い環境の中で競争・自然淘汰を通して、短い期間で土地本来の多様な機能を果たす本物の森づくりを行う宮脇方式を提唱している。現在までに国内外で4,000 万本以上の木を植え、数々の森の再生に活躍中。

主な図書『瓦礫を活かす「森の防波堤」が命を守る(学研パブリッシング)』、『次世代への伝言(地湧社)』、『4千万本の木を植えた男が残す言葉(河出書房新社)』、『三本の植樹から森は生まれる(祥伝社)』他、多数。

